

第2章 課題の整理

本地域を取り巻く現状を踏まえ、公共交通の課題を以下の通り整理した。

課題1 鉄道に関する課題

- ・ 少子高齢化の進展に伴い、通勤、通学利用者は減少する一方、高齢者等、公共交通が必要な交通弱者は増加することが想定されるため、交通弱者等の需要変化への対応が求められる。
- ・ 2本の鉄道が南北に運行しており、鉄道を利用するの広域な移動が見られる。東伊豆・中伊豆地域外からの観光移動も多く、時期や時間帯によって利用者数や利用形態に違いがあるため、利用者の意向に対応した運行確保が求められる。

課題2 路線バスに関する課題

- ・ 少子高齢化の進展に伴い、通勤、通学利用者は減少する一方、高齢者等、公共交通が必要な交通弱者は増加することが想定されるため、交通弱者等の需要変化への対応が求められる。
- ・ 路線、地域により利用形態に違いがあり、また、バス利用にあたり地域住民、観光客から運行本数や運行時間帯など「運行」を重視する意向が多くあるため、利用者の意向に対応した運行確保が求められる。
- ・ 乗車が少ない区間や、複数の路線が重複して運行する区間がある。また、収支率が低い路線が存在し、バス路線を確保するための市町財政の逼迫が懸念されるため、運行の効率性確保が求められる。
- ・ 乗務員は高齢化し、さらなる乗務員不足が懸念される。運行の確保を図るにあたっては乗務員の確保が必要であり、乗務員不足の解消が求められる。

課題3 タクシーに関する課題

- ・ タクシー利用にあたり、地域住民、観光客から「料金」を重視する意向が多い。また、観光客からは、目的地までの料金の明示や支払いのしやすさのほか、必要時にすぐ乗車したいなど、タクシーならではのサービスを求める意向があるため、利用者の意向に対応したサービスの確保が求められる。
- ・ 乗務員は高齢化し、さらなる乗務員不足が懸念される。サービスの確保を図るにあたっては乗務員の確保が必要であり、乗務員不足の解消が求められる。

課題4 交通結節点に関する課題（鉄道、路線バス、タクシー）

- ・乗継時間について、地域住民からは15分程度の待ち合わせ時間を望む意向が多い一方、30分以上の待ち合わせ時間が生じるケースがあるため、**乗継の利便性確保**が求められる。
- ・地域住民、観光客から、乗継に関する情報提供を求める意向が多く、また、観光客から乗り場案内の分かりやすさなどの意向があるため、**待合環境の向上**が求められる。

課題5 交通空白地域に関する課題

- ・鉄道、路線バス、デマンド交通による人口カバー率は8割程度であるものの、交通空白地域では人家が集合し、高齢化率が高い地域も見られる。これらの地域における移動手段を確保することによる**交通空白地域の解消**の検討が求められる。

課題6 観光客の移動に関する課題

- ・観光客が利用する交通手段は、公共交通が3割程度と重要な移動手段となっている。過半数が複数箇所を来訪しており、**観光客の周遊移動の利便性確保**が求められる。
- ・観光客の3分の2は事前に来訪地に関する情報を調べている。目的地までの公共交通の移動手段に関する情報などを求める意向があるため、**観光客への情報提供の充実**が求められる。